

MeetUp2022#1 『子どもの声を聴くってどういうこと？ 子どもの権利と子どもアドボカシー』

	質問	回答
1	子どもの声を聴くことためには必ずアドボケイトが必要ですか？	子どもの声を聴くことは子どもの周りにいる大人の誰もが注意を払うべきことです。子どもが声（気持ち・意見）を表明し、その声が子どもの生活に影響を与えることがどこでも当たり前になる社会が理想です。その際、より脆弱な立場にいる子どもの代弁者になるのがアドボケイトです。（西崎様）
2	子どもたちの「どうせ大人の考える最善の利益なんでしょ」にはどう答えるのがいいのでしょうか？	子どもの最善の利益を一緒に考えるために、声を聴かせてほしいと言うことだと思います。（西崎様）
3	将来のやりたいこと、即ちキャリアについてもこどものやる気や能力に関係ない周囲の環境によって、左右されてしまう事例もよくある話なのではないでしょうか？	子どもの将来は、親と子どもの意見がぶつかる場面の一つだと思います。成長するにつれて子どもをとりまく社会は広がり、それによって子ども自身の思い描く将来像と親の希望にギャップが生まれることも多いと思います。それこそ、子どもを「一人の人間」として尊重し、子どもの意見や気持ちをよく聴き、寄り添いや対話が必要だと考えます。（西崎様）
4	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの子ども権利に関する質問を教員向けの研修などで使ってみたいです。	今回取り上げたおやこのミカタや、子どもの権利の一覧などはぜひご利用ください。（西崎様） https://www.savechildren.or.jp/news/publications/download/kodomonokenrijoyaku_A4_illustration.pdf

MeetUp2022#1 『子どもの声を聴くってどういうこと？ 子どもの権利と子どもアドボカシー』

	質問	回答
5	<p>独立アドボケイトとしてはその子の最善の利益のために児相のスタッフに伝えて改善を求めるべきだと思っても、子どもが「誰にも言わないで」と言って嫌がることもあるのではないのでしょうか。「子どもとの真摯な対話」が大事になりますが、どうしても子どもが同意しなかったらどうするのでしょうか。</p>	<p>訪問アドボケイトにおいて子ども主導の原則があるので、子どもに「言わないで」といわれたら言わないというのが原則です。（渡辺様）</p>
6	<p>改めて、なぜいまの日本で子どものアドボカシーが大切だと考えますか？また、アドボカシーを通して、子ども達を捉える日本の大人の眼差しがどう変化するといいとお考えのでしょうか？</p>	<p>子どもの声が聴かれず、大人ドリブンの社会を変えていこうという変化の時期だからです。子どもを未熟な存在、大人の従属物と考える大人がまだまだ多いため、子どもを権利の主体として捉え、子どもの声を聴き、子どもの最善の利益を考える大人が増えることを期待しています。（西崎様）</p> <p>子どもの声が十分にきかれているとはいえないからです。一人ひとりのお子さんの意見をきこう、尊重しようという変化すると思います。（渡辺様）</p> <p>子どもの声が聞かれていないからだと思います。対等になるといいと思います。（なおと様）</p>
7	<p>子どもの権利や子どもアドボカシーについての意見交換の場や交流の場があれば、教えていただきたいです。</p>	<p>子どもアドボカシーJAPANネットワークというFacebookグループで各地の団体や研究者が交流しています。子どもアドボカシー学会や全国子どもアドボカシー協議会といった組織でも交流や意見交換が行われています。 https://www.facebook.com/groups/2017336121892921/</p>